

マニユライフ生命、 島根大学医学部附属病院(島根県)の子どもたちに 安心と癒しの遊び場を提供 16カ所目の「マニユライフわくわくる一む」設置を決定

カナダを本拠とする生命保険会社、マニユライフ生命保険株式会社(取締役代表執行役社長兼 CEO: 吉住公一郎、本社: 東京都新宿区、以下「マニユライフ生命」)は、「子どもの療養環境支援プロジェクト」の一環として、小児医療施設で療養中の子どもたちのためのプレイルーム「マニユライフわくわくる一む」の設置と、「子どもの療養環境向上アイデア」への助成を行っています。このたび、2018年の募集・選考を行なった結果、「マニユライフわくわくる一む」を島根大学医学部附属病院(島根県出雲市)に2019年に設置することを決定いたしました。「子どもの療養環境向上アイデア」に関しては、関西医科大学附属病院(大阪府枚方市)、訪問看護ステーション 虹とり(愛知県大府市)、横浜市立大学附属病院(神奈川県横浜市)の3施設を支援先として選出しました。

「マニユライフわくわくる一む」の設置は2007年より開始し、これまでに15カ所の設置実績があります。子どもたちが受ける、治療によるストレスを軽減するためには、家庭を思い起こさせるようなリラックスできる空間作りや、他の子どもたちとの関わり合いの中で社会性を育む機会の提供など、療養環境の充実が不可欠です。マニユライフ生命は、わくわくる一むの設計、内装、家具、おもちゃ等のほか運営面も含めて、細部に至るまで専門家の意見が反映されたプレイルーム作りを支援しています。

16カ所目の「マニユライフわくわくる一む」寄贈先として選出された島根大学医学部附属病院は、島根県唯一の特定機能病院*¹であり、山陰地方の子どもたちの外科疾患を集学的に診療できる病院*²です。がん治療を中心とした思春期・若年成人世代の診療も積極的に行なっています。既存のプレイルームは食堂と併設され、食事制限のある患者に対する配慮が難しい状況です。また、乳幼児から若年成人までの世代が同じプレイルームで過ごす中、今回、食堂との分離、幅広い世代が年齢に合わせて多目的で心地よく過ごせる空間づくりを、「マニユライフわくわくる一む」を設置することにより実現したいという強い希望に応え、2018年の寄贈先として決定しました。開設は2019年を予定しています。

- *1 高度先端医療の提供・開発・研修などに対応できる病院として厚生労働大臣が承認した病院
- *2 がん治療における外科療法、化学療法、放射線療法、免疫療法等を組み合わせて行う治療



2018年10月に開所した大阪急性期・総合医療センター(大阪府)の「マニユライフわくわくる一む」

また、全国の小児医療施設から寄せられた「子どもの療養環境向上アイデア」募集の結果、新たに3施設が支援先として選出されました。この取り組みは2005年より開始し、これまでに延べ89件の支援を行っています。2018年の支援先とその内容に関する詳細は別紙をご参照ください。

マニユライフ生命は、今後も子どもたちの療養環境改善の支援に積極的に取り組んでまいります。

マニユライフ生命の子どもの療養環境改善活動について

「マニユライフわくわくる一む」の寄贈および「子どもの療養環境向上アイデア」への助成は、マニユライフ生命が特定非営利活動法人「子ども健康フォーラム」とともに継続的に行なっている活動です。2015年には子どもの健全な成育環境の向上への寄与が認められ、「こども環境学会賞活動奨励賞」を受賞しています。

【別紙】

■2018年「マニユライフわくわくる一む」寄贈先

施設名(所在地)	概要
<p>島根大学医学部 附属病院 (島根県出雲市)</p>	<p>島根県唯一の特定機能病院であり、山陰地方の子どもの外科疾患(小児外科、心臓外科、脳外科など)を集学的に診療できる病院です。がん治療を中心とした思春期・若年成人世代の診療も積極的に行っています。</p> <p>新生児から若年成人までの幅広い年齢の患者さんが治療を受ける中、既存のプレイルームは食事制限のある患者に対する配慮が難しく、年齢に合わせて楽しめる状況ではありません。「マニユライフわくわくる一む」の設置を機に、小児病棟の一部機能の移転に伴う跡地において、プレイルームの改修を行い、患者さんと家族が心身ともに安心して心地よく過ごすことができる環境を整えることを目指します。</p>

■2018年「マニユライフ生命子どもの療養環境向上アイデア」支援先 (五十音順)

施設名(所在地)	概要
<p>関西医科大学 附属病院 (大阪府枚方市)</p>	<p>「注射は見ない！楽しい絵を見て、もう泣かない！」</p> <p>採血やガーゼ交換を行う処置室の壁や天井に楽しい絵やディスプレイ、トリックアートなど、子どもたちが喜ぶ装飾を行い、恐怖心や不安を軽減します。</p>
<p>訪問看護ステーション 虹とり (愛知県大府市)</p>	<p>「何だろう？」から始まる1歩 —新しい発見！移動わくわくる一む—</p> <p>障がいや医療的ケアのために外出機会が少なく、新しい刺激を体験する場が限られている子どもたちに在宅環境でも楽しめる場を提供します。テントを利用し、移動型の「わくわくる一む」を設置し、移動おもちゃ箱を開けて、トンネルやベビージム、輪投げなど今までに触れたことがないようなおもちゃで遊びます。在宅時の子どもたちの新しい発見や新しい体験により、療養環境の改善を目指します。</p>
<p>横浜市立大学 附属病院 (神奈川県横浜市)</p>	<p>泣いてもいいよ、「できた！」がつくる「出来る！」の自信 —アミューズメントパークへようこそ—</p> <p>2018年4月よりチャイルド・ライフ・スペシャリスト(CLS)が正式に採用され、医師・看護師と一緒に子どもたちの心理社会的支援に注力しています。</p> <p>小児科病棟の処置室を新たな発見でワクワクするような「遊園地」をテーマに装飾を行い、iPadやシール、マグネットなどを用意し、暗幕によって星空を演出します。子どもたちが主体的に検査や処置を乗り越えられるような空間づくりとともに、スタッフが子どもたちの頑張りを引き出せるような支援の提供を目指します。</p>

参考:「マニユライフわくわくる一む」設置実績(2018年11月現在)

	施設名(所在地、選考年)	概要(完成年)
1	近畿大学医学部附属病院(大阪府、2007年)	病室を改修した病棟プレイルーム(2008年)
2	豊田厚生病院(愛知県、2007年)	短期入院用と中長期入院用の2つの病棟プレイルーム(2008年)
3	大阪市立総合医療センター(大阪府、2008年)	思春期コーナーがある病棟プレイルーム(2009年)
4	中部ろうさい病院(愛知県、2008年)	病棟プレイルーム・処置室に連動した外来プレイコーナー(2009年)
5	旭川厚生病院(北海道、2009年)	乳幼児コーナーを設けた病棟プレイルーム(2010年)
6	大阪府立母子保健総合医療センター(大阪府、2009年)	国内初の青少年向けプレイルーム(2010年)
7	滋賀県立小児保健医療センター(滋賀県、2010年)	重症心身障害児向け病棟プレイルーム(2011年)
8	星総合病院(福島県、2011年)	東北地方初 本格的プレイルーム(2013年)
9	心身障害児医療療育センター(東京都、2012年)	心身障害児向けプレイルーム(2013年)
10	茨城県立こども病院(茨城県、2012年)	子ども専門病院における青少年向けプレイルーム(2014年)
11	北里大学病院(神奈川県、2013年)	小児病棟プレイルーム・外来プレイコーナー(2015年)
12	堺市立総合医療センター(大阪府、2014年)	幅広い年齢の子どもたちに対応する小児病棟プレイルーム・外来プレイコーナー(2015年)
13	済生会横浜市東部病院(神奈川県、2015年)	わくわくる一む初となる屋外スペースを含むプレイルームを(2017年)
14	国立国際医療研究センター(東京都、2016年)	既存の楕円形プレイルームを生かした、ユニークなプレイルーム(2017年)
15	大阪急性期・総合医療センター(大阪府、2017年)	「癒しの森」をテーマに、幅広い年齢の子どもたちがさまざまな遊びを楽しむことができるプレイルーム(2018年)

特定非営利活動法人「子ども健康フォーラム」について

「子ども健康フォーラム」は、未来のある子ども達に、その胸に夢と希望がもてるような環境を整えることが必要不可欠であるという考えを持っています。日本有数の先進的小児保健医療施設である「あいち小児保健医療総合センター」(愛知県大府市)をはじめとする小児医療諸施設の装飾支援、プレイルーム支援、子どもの健康に関する施設でのイベント開催支援等を行っています。病児やその家族が癒され、勇気をもって治療を受けられる手助けとなる病院の環境づくりは、高い社会的評価を受けています(ホームページ <http://www.npo-cln.com/>)。

マニユライフ生命について

マニユライフ生命は、130年の歴史を持ち、カナダを本拠とする大手金融サービスグループ、マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーション(マニユライフ)のグループ企業です。プランライト・アドバイザー(自社営業職員)、金融機関、代理店の3つの販売チャネルを通じて、法人ならびに個人のお客さまへ、先進的な商品と質の高いサービスを提供しています。ブランド・スローガン「今日を生きる。明日をひらく。」のもと、お客さまが自ら健康で豊かな未来を切りひらいていくためのサポートをしています。詳細はホームページ(www.manulife.co.jp)をご覧ください。公式フェイスブックページ(<https://www.facebook.com/Life2.0.ManulifeJapan>)、Twitter ページ(<https://twitter.com/ManulifeJapan>)でも情報発信しています。

